



平成 30 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 フェスタリアホールディングス株式会社  
 代 表 名 代表取締役社長 貞松 隆 弥  
 ( J A S D A Q ・ コード 2 7 3 6 )  
 問い合わせ先 取 締 役 姉 川 清 司  
 電 話 番 号 0 3 - 5 7 6 8 - 9 9 6 9

### 通期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

平成 30 年 7 月 12 日に公表した平成 30 年 8 月期（平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）における通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 平成 30 年 8 月期連結業績予想数値と実績値との差異について

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当り 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,800	100	70	40	34.46
実績値(B)	9,695	57	32	5	4.72
増減額 (B-A)	△105	△43	△38	△35	
増減率(%)	△1.1	△43.0	△54.3	△87.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 8 月期)	9,578	311	316	169	150.94

(注)当社は平成 30 年 3 月 1 日付で普通株式 10 株を 1 株に併合しております。前期の 1 株当たり当期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して金額を算定しております。

##### 2. 差異の理由

当第 3 四半期累計期間（平成 29 年 9 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日）までの実績を踏まえ、第 4 四半期会計期間（平成 30 年 6 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日）では、EC 売上が低調に推移したことに加え、当社直営店舗の大部分が百貨店やショッピングセンターなどの商業施設に立地している状況下、豪雨や台風、記録的な猛暑といった天候不順の影響から商業施設の集客が鈍ったことが影響し、実店舗販売についても苦戦を強いられました。ブライダル強化施策の継続実施によりブライダル来店予約数が増加したことにより、販売を下支えしたものの、計画値のマイナス乖離をカバーするまでには至らず、売上高は僅かながら予想を下回る結果となりました。

利益面については、店舗効率向上に向けたブランドの統廃合に伴う費用が増加したものの、ローコストオペレーションの推進により費用全体は概ね計画通りとなった一方で、売上減少に伴う売上総利益が計画値を割り込んだことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は予想を下回る結果となりました。

以上